（記載例）　資料４

令和３年度　事務事業評価調書	施策名		施策コード	

整理番号	枝番	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	令和3年度 前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号 (A)	事務事業方向性 (B)	理由及び今後の対応 (C)	重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	視点 (E)	見直し可否 (F)	理由 (G)	Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	視点 (I)	見直し可否 (J)	理由 (K)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	見直し有無 (M)	内容 (N)	Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	対応状況 (P)	二次政策評価 事務事業方向性	二次政策評価意見
0213			一般	○○○事業費	○○○において、参加・体験型の環境教育を実施する。	○○政策課		779	779	0.6	0.0	0.6	5,465	①	改善（指標分析）	○○を縮小し、予算を伴わない○○が効果的であると考えるため、事業を再構築する。	－	①	－	参加・体験型の環境教育であるため、対面での実施が必要であるところ、すでに可能な範囲において非接触型のオンライン開催を活用するなどして対応済。	－	⑦	－	参加・体験型の環境教育であるため、対面での実施が必要であるところ、すでに可能な範囲において非接触型のオンライン開催を活用するなどして対応済。	○	－	すでに、オンライン開催等により、コロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを図った。	○	・オンライン開催等により、コロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを図った。 ・感染症の推移を注視しながら、気候変動対策の取組を推進し、非接触型のオンライン開催を活用するなど温室効果ガスの一層の削減及び適応の取組推進を図る。		
0405		03032	一般	△△△推進事業費	水素社会の実現に向けて、気運醸成・理解促進を図るための普及啓発等	△△△課		2,511	100	2.2	0.0	2.2	19,693		拡充	ゼロカーボンに有効な水素社会の実現のため、経済部とも連携し、○○等効果的な事業を実施する。	○	① ④	○	予算面での課題があるが、FCVの導入実績が目標に達していないため、事業を推進することが必要。	－	－	－		－	－		○	・オンライン開催等により、コロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを図った。 ・感染症の推移を注視しながら、気候変動対策の取組を推進し、非接触型のオンライン開催を活用するなど温室効果ガスの一層の削減及び適応の取組推進を図る。		
1006			一般	◆◆◆事業費	国の◆◆◆事業を活用し、学校におけるICT環境整備等の支援を実施	◆◆◆課		45,580	0	0.3	0.1	0.4	48,704		縮小	R4以降はR3整備内容を元に各高等学校で対応していく予定であるため。	－	④	－	事業内容において、すでにオンライン化に対応済みであるため。	○	－	－		○	－	事業内容において、すでにオンライン化に対応済みであるため。				
1405		02071	一般	○○推進費（○○総合交付金）	市町村等が行う地域課題の解決や地域活性化を目的とした取組などに対し、総合振興局・振興局が交付金を交付する。	○○○課	0	4,580,000	4,480,000	1.5	10.5	12.0	4,673,720		拡充	ゼロカーボン、Society5.0など、新たな課題等への対応のため、対象事業や総事業費の拡充等による対応が必要。	○	① ② ③ ④ ⑤	○	先進的・先駆的な取組を知事が選定する「○○重点推進事業」の採択にあたって、ゼロカーボンに係る提案事業を優先的に採択する制度改正を行い、当該事業の推進に資するため	－	⑦	○	先進的・先駆的な取組を知事が選定する「○○重点推進事業」の採択にあたって、行政のデジタル化に係る提案事業を優先的に採択する制度改正を検討	－	－		○	令和2年度に国の地方創生推進交付金による先駆的な取組を行った市町村を対象に、関連する単独事業への上乗せ支援などの制度改正を行ったところであり、今後の動向を注視するとともに、引き続き北海道総生総合戦略（地域戦略）の推進に資する取組事業への誘導を図っていく。 また、市町村等に対しては、事業相談の機会を通じて適切な提案等を行い、本制度の効果的、効率的な執行に寄与する事業の実施を推進していく。		
計							0	4,628,870	4,480,879	4.6	10.6	15.2																				